

学校関係者評価の結果について

実施日 令和6年2月20日(火)

1 参観した行事

6年生を送る会

2 説明・参考資料

- ・学校評価(後期 児童、保護者、職員)集計結果
- ・学校経営

3 学校関係者評価の内容

◎学校に対しての意見・要望等

児童の活動について

- ・コロナ禍からの回復による子供たちの変化が感じられる。気持ちが確実に違っているししっかり取り戻している学校の姿を感じた。(送る会の様子、グラウンドでの縦割りで遊ぶ姿。)
「子供たちが自主的に考えていく」「考えて行動する」が、感じ取れた。
- ・前年度より子供たちの表情がとても良いと感じている。
- ・今年度は、交流活動を再開し、1・2年生と収穫祭や秋祭り、3・4年生とはダンスの発表による交流会を行った。参加した子供たちの笑顔に園としても元気をもらい、多くの入居者・利用者に喜んでいただいている。次年度以降も継続をお願いしたい。
- ・縦割りの関係がとてもよく、学校のねらいと子供たちの育ちが合致している姿があったと思う。

学校評価の結果について

- ・(校長先生は、5類になって様々な活動が再開されたことが要因と言うが)子供たちの評価が上がったのは、今年度の教職員の取り組み再開に向けての姿勢が表れたことだと思う。

タブレットについて

- ・タブレットの扱いは、もっと子供任せてよいのではないだろうか。壊れることを恐れて子供たちの活動に有効に使われていないような気がする。学級閉鎖や感染症の拡大時の対応としての活用をもっと積極的に行った方が良いと思う。

児童への対応について

- ・ものを言わない(「困った」の声をあげない)児童に対して、地域での独居老人への取り組みのように、ぜひ積極的に行っていただきたい。(子供たちへの取り組みとは違うが、地域での取り組みをぜひ参考にしてもらいたい。「寄り添って孤立する方をなくそう。」という姿勢はきっと学校教育の場にも役立つはず。)
「Help」が言えない子供たちには、こちらから近づいていきたいものである。「寄り添う」をぜひ念頭に。

その他

- ・集金業務は、先生方の負担になっている。PTAでお手伝いしてもいい。
- ・(以前あった。以前は「佐倉食」と言っていたように思うが、地域に根付いた給食=食をぜひ)地域の人たちにも、給食の試食の機会があればぜひ参加したい。